

令和8年度予算のお知らせ



経常収支
2億5,886万3千円の赤字予算

健康保険

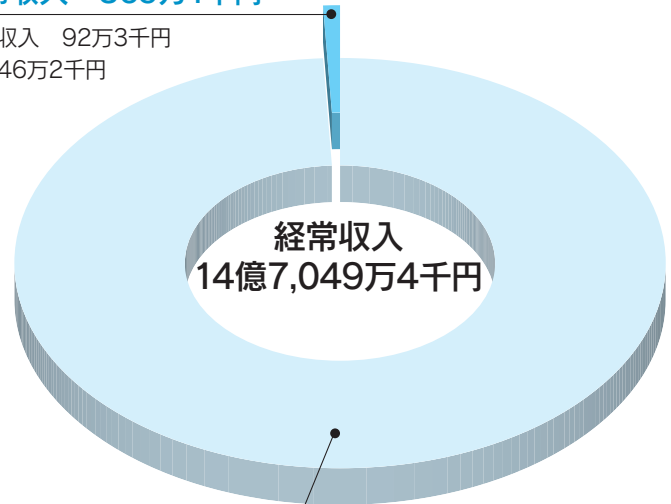
予算総額19億9,227万4千円

■予算の基礎数値

被保険者数	1,937人
平均標準報酬月額	479,000円
保険料率	94.0/1000
事業主	50.7/1000
被保険者	43.3/1000

その他経常収入 369万1千円

- 国庫補助金収入 92万3千円
- 利子収入 46万2千円
など



保険料 14億6,680万3千円

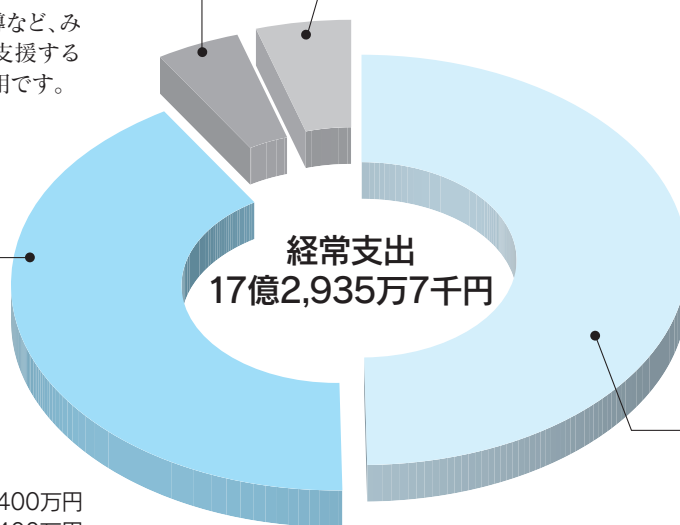
毎月の給料や賞与から、みなさまと事業主に納めていただきます。前年度比5,944万円増を見込んでいます。

その他経常支出 7,955万4千円

- 事務費 7,305万3千円
- 連合会費 60万4千円 など

保健事業費 7,000万1千円

各種健診、特定保健指導など、みなさまの健康づくりを支援するための事業にかかる費用です。



保険給付費 8億6,180万円

みなさまが受けた医療に対する給付等にかかる費用です。前年度比3,582万円増を見込んでいます。

納付金 7億1,800万2千円

高齢者医療を社会全体で支えるために、健保組合に課せられる費用です。前年度比8,300万円増加の見込みです。

- 保険料の約49%に相当
- 前期高齢者納付金 3億4,400万円
- 後期高齢者支援金 3億7,400万円
- その他 2千円

■保険料の約59%に相当

予算の概要

令和8年度予算は、総額19億9,227万4千円を計上し、経常収支では、2億5,886万3千円の赤字予算を見込んでいます。

収入面では、被保険者数や平均標準報酬月額増加により、収入の大半を占める保険料収入は対前年度比、約5,944万円増加の14億6,680万3千円と見込んでいます。

一方、支出面においては、前期高齢者納付金と後期高齢者支援金が対前年度比8,300万円の増加見込みとなり、保険給付費については、前年度の増加傾向を踏まえ、令和8年度は通常の予算ベースより増加することを見込んでいます。

また、保険給付費の不測の増加に備え、予備費として2億4,000万円を計上しています。

前述の、納付金および保険給付費（義務的経費）だけで保険料収入の108%となるため、経常収入だけでは賅えず、繰越金約3億1,880万円を補填して予算編成としています。令和8年度予算では、

保険料率は据え置きましたが、依然として厳しい組合運営が続くことは変わりありません。

健保組合としては、誰もが安心して医療を受けられ国民皆保険制度の一翼を担うという責任のもと、財政の健全化に取り組みつつ、より効率的・効果的な保健事業に取り組んでまいります。被保険者とそのご家族のみなさまにおかれましては、当健保組合が実施している保健事業などをご活用いただくとともに、日ごろの健康管理の留意やジェネリック医薬品の積極利用等、医療費の節減にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

健保組合を取り巻く状況

団塊の世代がすべて後期高齢者となる2025年を通過し、日本の高齢化は新たな局面を迎えました。今後は高齢者人口がピークを迎える2040年頃にかけて、医療の高度化等に伴う医療費の増大と、生産年齢人口の減少による現役世代の負担増が、引き続き社会保障制度の大きな課題となっています。

介護保険

予算総額 3億6,714万1千円

介護保険については、事業主と40歳以上の被保険者のみなさまから介護保険料の徴収を行い、介護保険の事業運営に協力しています。

令和8年度においては、介護保険料率は据え置くこととしました。

■収入

科目	予算額
介護保険収入	2億3,106万4千円
繰越金	1億3,607万5千円
その他	2千円
収入合計	3億6,714万1千円

■支出

科目	予算額
介護納付金	2億600万円
介護保険料還付金	111万7千円
予備費	1億6,002万3千円
雑支出	1千円
支出合計	3億6,714万1千円

子ども勘定

予算総額 3,740万2千円

令和8年4月より、国の少子化対策強化の一環として、子ども・子育て支援金制度が導入されます。医療保険制度に加入するすべての被保険者が負担することになり、介護保険料と同様に、健康保険組合が代行して徴収します。

■収入

科目	予算額
子ども・子育て支援金収入	3,640万円
一般勘定収入	100万円
その他	2千円
収入合計	3,740万2千円

■支出

科目	予算額
子ども・子育て支援納付金	3,171万2千円
子ども・子育て支援金還付金	13万8千円
予備費	555万1千円
雑支出	1千円
支出合計	3,740万2千円